

日本技術士会 原子力・放射線部会 活動の概要

2025年4月25日

原子力・放射線部会活動は...

- 部会員の活動の支援が第一。
～原子力・放射線部門の技術士として職場内外で活躍してほしいと考え、様々な活動をしています。
 - ① 社会に対する**情報発信、提言の場**の提供
⇒ 業務上の立場、観点を超えたより**自由な情報発信**が可能
 - ② 企業内での活躍や社会貢献のための**学びの場**の提供
⇒ 技術士としての**資質（コンピテンシー）の向上**

原子力・放射線部会活動は...

- 部会員の活動の支援が第一。
- ③ 技術士として活躍できる場（社会貢献）の提供
⇒ 技術士の能力の社会への還元、認知度向上、存在感アップ
- ④ 部会員相互、他部会員、講演会講師、地域連携などの人脈形成の場の提供
⇒ 業務だけでは得られない幅広い人脈とそれによる幅広い視野、技術力の獲得

2020年度以降の月刊PEによる情報発信

号	月刊PEタイトル
2020. 12	<ul style="list-style-type: none"> 原子力事業を取り巻く廃棄物問題について考える
2021. 11	<ul style="list-style-type: none"> 核燃料サイクル施設の規制基準と六ヶ所再処理施設の安全対策
2022. 8	<ul style="list-style-type: none"> 福島第一原発事故に向き合う 我が国の放射線産業の概要と今後の展望
2022. 9	<ul style="list-style-type: none"> 小型モジュール炉(SMR)の開発・建設計画と国際動向
2022. 11	<ul style="list-style-type: none"> 福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出の計画
2023. 4	<ul style="list-style-type: none"> 原子力・放射線部会Web見学会の構想検討と試行
2023. 6	<ul style="list-style-type: none"> ハイパーカミオカンデで探る素粒子と宇宙
2023. 8	<ul style="list-style-type: none"> 放射線防護の外部被ばくの線量概念-現行の概念と新たな概念-
2024. 1	<ul style="list-style-type: none"> オクロ天然原子炉より学んだ地層による 核分裂生成物の閉じ込め機能
2024. 4	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーミックスの展望
2024. 6	<ul style="list-style-type: none"> 専門を離れ、興味の赴くままに（活躍する技術士紹介）
2025. 4	<ul style="list-style-type: none"> 原子力・放射線部門 技術士のすゝめ

月刊PE（月刊技術士）による情報発信

- 福島廃炉、オフサイトに関すること
- 安全文化、安全確保に関すること
- 部会／部会員の活動 等



⇒他部門の技術士へ
⇒社会へ
…情報とメッセージ



原子力・放射線部会の活動（ホームページによる情報発信）

部会活動～皆さんに知ってもらいたいこと

公益社団法人 日本技術士会
The Institute of Professional Engineers, Japan

原子力・放射線部会

部会長からのメッセージ

原子力・放射線部会のホームページ > 会員コーナー > お知らせ > 2023年新年の御挨拶

2023年新年の御挨拶

技術士会 原子力・放射線部会
部会員の皆様

新春の候、皆様には日頃より部会活動にご協力・ご支援頂き、誠に有り難うございます。

2023年6月23日発行

原子力・放射線部会 会報第20号

会報

会報の発行
(活動成果の共有)

1. 部会活動
2. 会報編集委員会
3. 部会活動の現状
4. 2023年度活動報告
5. 活動レポート
6. 部会活動の現状
7. 部会活動の現状

行事予定の
アナウンス

活動協力依頼
(活躍の場の提供)

資料・論文情報
(成果共有)

- ・ 山田 和雄 「原子力・放射線部門とSDGs」 - 環境・経済分野を中心とする課題と展望」, 月刊「技術士」【SDGs特価】(2019.7)
- ・ 中村 昌光 「技術士とは何か」, 月刊「技術士」【技術者養成シリーズ】(2019.2)
- ・ 大塚 孝子 「日本原子力学会連合会員の活動紹介と課題」, 月刊「技術士」【技術者養成シリーズ】(2018.8)
- ・ 中野 純一郎/田中 直人 「福島第一原子力発電所の廃炉と世界の原子力」, 月刊「技術士」【世界への眼】(2018.5)
- ・ 陣田 貴浩 「原子力・放射線部門における技術士の認知度向上と技術士会への期待」, 月刊「技術士」【社会への発信】(2018.4)
- ・ 堀口 啓一 「VR 技術を活用した福島第一原子力発電所の廃炉作業への挑戦」, 月刊「技術士」【部門共通技術】(2018.4)

2022年度以降の原子力・放射線部会CPD企画

実施時期	実施No	内 容	講師	
2023.2	第84回	原子力はどこへ向かうのか～時代の転換期の中で考える	日経新聞	滝 順一氏
2023.4	第85回	RI製造研究の現状と将来展望―RIによるがん治療法開発を中心に―	大阪青山大学	篠原 厚氏
2023.6	第86回	日本のエネルギー安全保障と原子力	東京大学大学院	小宮山 涼一氏
2023.8	第87回	放射線の生体などへの影響総論	株式会社千代田 テクノル	杉浦 紳之氏
2023.10	第88回	原子力発電所の安全な長期運転に向けた取り組み	原子力エネルギー協議会 /ATENA	富岡 義博氏
2023.12	第89回	農業分野での放射線の利用：主に放射線育種場で育成された主な品種と遺伝学研究の成果	浜松ホニクス 株式会社	中川 仁 氏
2024.2	第90回	高レベル放射性廃棄物の地層処分	原子力発電環境 整備機構	兵藤 英明氏
2024.4	第91回	核燃料サイクルの確立と高速炉燃料の再処理技術	日本原子力 研究開発機構	小藤 博英 氏
2024.6	特別講演	原子力政策と技術士の役割の向上	原子力委員会委員長	上坂 充 氏
2024.8	第92回	放射線計測の概要	日本アイソトープ協会	脇谷 雄一郎 氏
2024.9	第93回	WEB見学会「大型放射光施設『SPring-8』	理化学研究所	河口 沙織 氏
2024.10	第94回	次世代革新炉の開発状況と国際動向	エネルギー総合工学 研究所	都筑 和泰 氏
2024.12	第95回	宇宙における放射線の影響と原子力利用	JAXA	川崎 治 氏
2025.2	第96回	使用済燃料の中間貯蔵の状況	電気事業連合会	市原 貴之 氏

現場を見て学ぶ 2019～2024年度見学実績から

六ヶ所サイクル施設



楢葉遠隔技術開発センター



SPring-8



2022年度～見学会のWeb化・ハイブリッド化を試行

見学先提供映像コンテンツ



CPD教材

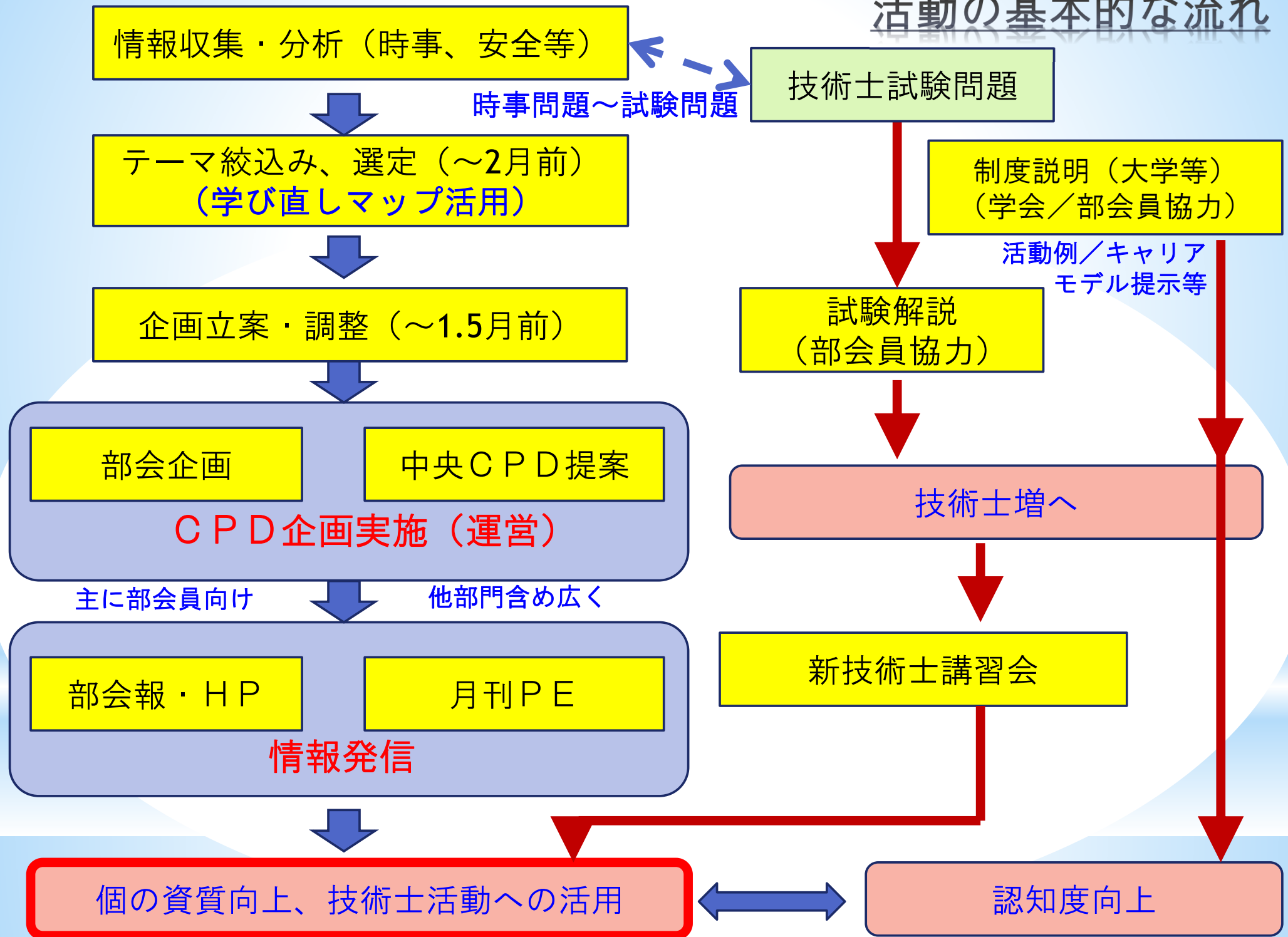


現地撮影動画



(会員専用ページ) <https://www.engineer.or.jp/cpd/pecpd/movie/?p1=1167>

活動の基本的な流れ



S幹事制度～特定案件の対応協力が可能（活躍の場）～ 〔役員と同等の情報を共有可能〕（応募制）

S幹事という名は当部会特有の俗称

⇒ Special、Support、Senior、Skype（地域との連携）…

役員の職務を特別に補佐する部会員

より多くの部会員に活躍して欲しい～地方からでも参加しやすい
（制約のある個に対して活動し易さを提供する部会からの一支援）

下記の外、部会と本部との連携を担う各種委員会の委員としての協力も可能

表-1 福島第一原子力発電所の廃炉について 原子力学会誌(アトモス)の記事のまとめ

No.	氏名	所属、経歴他	学会誌(特約メモで要約ではない)
16	井上正	[ATOMOΣ]	2015(1月号)理事会だより学会の福島復興へ貢献する【背景】1Fの廃止措置は、かつて経験のない技術的な挑戦であり、極めて長期にわたり継続される事業【課題】原子力分野の専門集団として「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」の委員長・宮野廣、副委員長・関村直人、岡本幸司、増田尚宏、67.【ミッション】「課題整理による汚染水の浄化、b)地下水バイパスの設置、c)タンク増設等、②使用済み燃料デブリの取り出し等、④国(原子力)の計量管理手法の検討「プロジェクトが駆けら管理についての類似事例の模

S幹事活動例 1

企画検討に有用な学会誌情報の収集、独自の視点からの分析と、それに基づく講演会等の企画提案

学会連携に係る調整・協力

大学説明会の対応協力

試験制度説明協力

時事問題の情報収集、分析等に係る検討・提案等

S幹事活動例 2



試験制度説明会の準備、調整、運営への協力

原子力・放射線部会の活動（認知度向上／技術士増の取組み） ～大学説明の拡大、原子力学会ブース開設（H30）～

大学生、社会人それぞれのキャリアに応じて技術士をアピール

原子力関連学部学科・大学院への技術士制度説明会

➤2024年は6大学を対象に制度説明会。約220名の参加者あり

No.	大学名	日付	部会メンバー	説明方法	参加数
1	九州大学	4/3	藤本S幹事	オリエンテーションで説明	約30
2	福井大学	4/8	井口S幹事	オリエンテーションで説明	約55
3	近畿大学	4/25	中田部会員	院生に直面説明	13
4	京都大学	4月	林部会員	パンフ・ポスターを学生用Webにアップロード	—
5	茨城大学	4月	芳中S幹事	パンフを学生に配布	—
6	都市大学	12/13	山田幹事	講義の1コマで説明	49
計	6大学	—	—	—	約140名

※2025. 2 第1回役員会資料より



大学での説明会の状況
(2023年度)

原子力学会 秋の大会(9月, 東北大)でのブース設置、保健物理・原子力学会合同大会(12月, 大阪大)での講演及びパネルディスカッション

➤ 社会人を含む多数が立寄り・聴講。制度説明及び資料配布。

※2024. 12 第5回役員会資料より

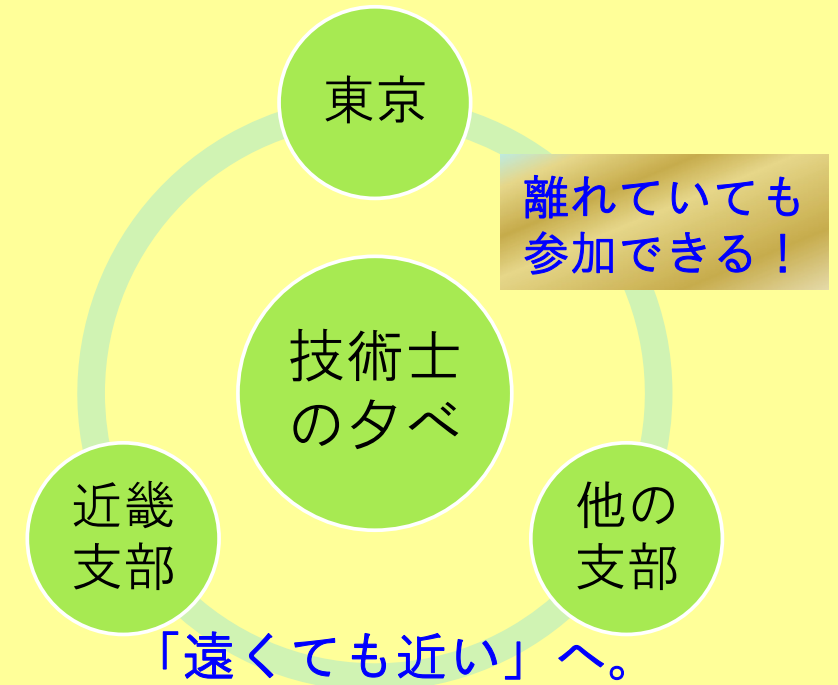


パネルディスカッションの状況

※2025. 2 第6回役員会資料より

部会員とのコミュニケーションの充実

- 部会員、S幹事 ⇒ 役員会
- 部会員の役員会へのオブザーバー参加
- 部会員から役員会への情報提供
(例会テーマ/講師選定のための学会誌執筆者情報の整理)
- S幹事からの情報提供
(関連学協会のシンポジウム/WS等の情報の定期的な供与)
- 役員会 ⇒ 部会員、S幹事
- WEB中継システムによる例会の配信
- 例会のストリームオーサー/カムタジアスタジオ収録、講演資料の掲載、詳細レジュメの掲載(会員サイト)
- 本部移転に伴いスカイプ導入予定
- 役員会もWeb会議の導入を計画
- 就職斡旋情報等の掲載、見学会情報等の限定掲載
- アンケートのHP掲載や執筆者との個別コミュニケーション



(事例) WEB中継システムを利用した
近畿支部からの「技術士のタベ」参加

參考資料

平成29年度の月刊PE（月刊技術士掲載記事）

号	月刊PEタイトル
2017. 4	<ul style="list-style-type: none"> 新たな技術者倫理教育に向けて
2017. 11	<ul style="list-style-type: none"> 女川原子力発電所の事例に学ぶ（部会CPD関連）
2017. 12	<ul style="list-style-type: none"> 福島高等学校スーパーサイエンス部放射線班として東人本大震災後の取り組みで学んだこと（部会CPD関連）
2018. 1	<ul style="list-style-type: none"> 原子力・放射線部門の活動と将来展望
2018. 2	<ul style="list-style-type: none"> 島根原子力発電所 機器故障予兆監視システムの開発について（部会員から）
2018. 4	<ul style="list-style-type: none"> VR技術を応用した福島第一原子力発電所の廃止措置への挑戦（部会CPD関連、部会準会員から） 原子力・放射線部門における技術士の認知度向上と技術士増に向けた取り組み
関連	
2017. 10	<ul style="list-style-type: none"> 福島が問う新しい「技術の安全」 越智小枝氏

2022年度の原子力・放射線部会CPD企画

実施時期	実施No	内 容	講師	
2022.4	第78回	ハイパーカミオカンデで探る素粒子と宇宙	東京大	平出 克樹氏
2022.6	第79回	福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出に関する計画について	東京電力	松本 純一氏
2022.8	第80回	福島第一原子力発電所周辺の放射能について-事故後の放射能の推移-	福島大	鳥居 建男氏
2022.10	第81回	JAEA楢葉遠隔技術開発センター Web見学会	NARREC	野崎 信久氏
2022.10	第82回	商業炉の解体廃棄物の処理処分の進捗状況について	エネ総研	平井 輝幸氏
2022.12	第83回	福島第一原子力発電所廃炉研究開発の現状	IRID	奥住 直明氏

「過去10年を振り返っての今後の10年の活動方針（H26／6）より

〔制度活用が期待通りでない原因〕

- 有資格者数の絶対数の不足（外的、内的要因）
 - ～技術士資格活用を制度化できる状況にない
- 技術士資格の認知度・認定度の不足（外的、内的要因）
 - ～組織内において技術士が高い技術力・倫理性を有するとの評価を得ていない
 - ～一般に対し技術士資格の知名度が低く技術士資格の活用がセールスポイントにならない
- 部会・個人の努力不足（内的要因）
 - ～部会活動の目標が不明確、アクションプランがない
 - ～部門技術士個人の組織内外での存在感を示す努力不足
- 3. 1 1 事故の影響（外的要因）
 - ～原子力事業の停滞
 - ～原子力ムラへの社会の不信
- 許認可体制の壁（外的要因）
 - ～審査・検査の第3者機関への移管が困難